

## 「いわて青少年育成プラン(2020～2024)」に係る指標の達成度(令和3年度実績)と今後の取組について

## (1) 総括

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により学校行事が制限されたことなどにより、青少年の地域での活動などに係る指標の達成度は低調となった。

一方で県では、参集型のイベントや研修事業等の代替として、ホームページでの情報発信を行いアクセス数が増加したほか、WEB会議ツールなどを使ったオンラインでの研修・交流の取組が普及した。

「1 個性や主体性を発揮して自立した活動ができる環境づくり」では、「高卒者の正社員求人割合」が向上するなど、若者の自立に向けた取組が進んでいる。

「2 愛着が持てる地域づくり」では、「自分の住んでいる地域が好きだと思っている児童生徒の割合」について、中学校、高等学校に進むにつれて大きく減少する傾向にあり、新型コロナウイルスの影響等、要因を踏まえた対策が課題である。

「3 青少年を事件・事故から守る環境づくり」では、「少年人口1,000人当たりにおける刑法犯少年の数」など、青少年による犯罪件数は低減している。

「4 若者が活躍できる環境づくり」では、新型コロナの状況も踏まえながら、若者が交流する機会の創出や若者の取組の情報発信等を行い、いわて若者交流ポータルサイトのアクセス数が大きく増加したほか、ポータルサイトの登録団体数、いわてネクストジェネレーションフォーラムの参加者数などが増加し、目標を達成した。

## (2) 「いわて青少年育成プラン(2020～2024)」に係る指標の達成度(令和3年度実績)

## [達成度の状況]

高(達成度100%以上)	37項目(41.6%)
中(達成度80以上100%未満)	14項目(15.7%)
低(達成度80%未満)	35項目(39.3%)
測定不能	3項目(3.4%)
合計	89項目(100.0%)

## [達成率の計算式]

- ① 増加を目指す指標:  
 $(\text{年度実績値} - \text{基準値}) / (\text{年度目標値} - \text{基準値}) \times 100$
- ② 低減を目指す指標:  
 $(\text{基準値} - \text{年度実績値}) / (\text{基準値} - \text{年度目標値}) \times 100$
- ③ 単年度当たりの達成を目指す指標  
 $(\text{年度実績値}) / (\text{年度目標値}) \times 100$

## 【主要指標】

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	基準値 H30(2018)	目標値			実績 R3(2021)	判定	令和3年度実績に対する評価と 今後(令和4・5年度～)の対応	担当課								
						R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)												
1 個性や主体性を発揮して自立した活動ができる環境づくり	(1) 豊かな人間性と社会性「健やかな体の育成」	ア 親子の触れ合いの充実	自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	/	/	/	/	/	/	コロナ禍による多様な体験活動等の機会が制約を受けたことや、多様性を認め合える環境づくりが十分でなかったことから、今後は、互いの人権や多様性を認め合う機会を重視した道徳教育及び人権教育の一層の充実に取り組む。	学校教育室								
			(小学生)										82.3	83.5	84.0	85.0	76.4	低		
			(中学生)										76.9	78.0	79.0	80.0	76.2	低		
		イ 道徳教育の充実	自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合	%	/	/	/	/	/	/	/	/	各教科等や体験活動等と関連を図りながら教育活動全体を通じて思いやりの心を育む取組が十分でなかったことから、多様な価値観を認め合う道徳性の涵養に向けて道徳教育の一層の充実に取り組む。	学校教育室						
			(小学生)												85.0	89.0	91.0	94.0	89.0	低
			(中学生)												88.0	91.0	92.0	93.0	88.0	低
	ウ 環境学習の充実	環境学習交流センター利用者数	人	環境学習交流センター利用者数 ※ 目標値の変更あり	人	②30,511	42,000	31,000	42,000	33,258	高	新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者やイベント開催時の定員の減等により利用者数が低迷した。イベントのオンライン併用開催等、利用者増につながるよう工夫をしていく。	環境生活企画室							
	エ 食育の推進	食育普及キャラバン参加者数【累計】	人	食育普及キャラバン参加者数【累計】 ※ 目標値の変更あり	人	275	520	564	824	577	高	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は食育の普及啓発物品の配付する形で食育キャラバンを実施した。令和4年度も実施方法を工夫しながら新型コロナウイルス感染症の状況に対応した形で実施する予定である。	県民くらしの安全課							
オ 体育・スポーツの充実	運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合(維持指標)	%	運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合(維持指標)	%	89.0	89.0	89.0	89.0	86.0	中	実績は低下したが、全国平均値を上回っている状況であり、今後もこの水準の維持を目指す。	保健体育課								
	「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合	%	「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合	%	/	/	/	/	/	/	適切な運動習慣、食習慣、生活習慣を身に付けるための取組を関連付けて効果的に推進できなかったことなどにより、「肥満」の割合が増加した。今後は、家庭や地域などと連携し、「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の形成による健康の保持・増進に向けて、各習慣を相互に関連付けた一体的取組を推進する。	保健体育課								
													(小学生)	88.1	89.0	90.0	91.0	86.6	低	
													(中学生)	86.2	87.0	88.0	89.0	85.6	低	

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	基準値 H30(2018)	目標値			実績 R3(2021)	判定	令和3年度実績に対する評価と 今後(令和4・5年度~)の対応	担当課																	
						R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)																					
(2) 生涯を通じて学び続ける力の育成	キ 読書活動の推進	読書がとて楽しいと感じる児童生徒の割合	%	/	/	/	/	/	/	各学校種において、「とても楽しい」「楽しい」を合わせた肯定的回答はいずれも85%以上と全国比でも非常に高い数値であり、今後も各種研修会の内容の改善や更新を図り、読書活動に関する情報の周知を継続し、読書に親しむ環境の構築と、読書を楽しむ素地を育成していく。	生涯学習文化財課																		
												(小学生)	45.0	47.0	48.0	50.0	44.0	低											
												(中学生)	42.0	46.0	48.0	51.0	40.0	低											
												(高校生)	38.0	44.0	48.0	52.0	40.0	低											
	ク 文化芸術活動の推進	子どものための芸術家派遣事業公演数【累計】	件	89	131	198	266	172	低	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった公演があり目標値を下回ったが、次代を担う子どもたちに優れた文化芸術に触れる機会を提供するため、引き続き取り組んでいく。	文化振興課																		
	ウ 個性を伸ばし主体的に学ぶ力を育てる教育の推進	ア 総合的な生涯学習の推進	生涯学習情報提供システム利用件数	件	76,043	79,000	120,000	120,000	165,721	高	ホームページのリニューアル等を進めることで、目標値を大きく上回った。オンライン研修の受講を支援するための特設ページの開設や、SNSを活用した情報提供等に引き続き取り組み、利用件数の増加を図る。	生涯学習文化財課																	
													※ 目標値の変更あり																
		ウ 個性を伸ばし主体的に学ぶ力を育てる教育の推進	地域や産業界等と連携し魅力ある学校づくりに取り組んでいる高校の割合	%	86	100	100	100	93	中	取組は概ね順調に推移しており、引き続き魅力ある学校づくりに取り組む。	学校教育室																	
													私立高等学校における特色ある教育活動の実施率	%	76.9	60.7	62.4	56.4	中	新型コロナウイルス感染症の影響により、対外的な活動を一部休止せざるを得ない状況が続いたことで、実績が目標を割り込んだ。今後、社会活動の再開にあわせ各私立高等学校が行う特色ある教育活動が活発化されるよう、引き続き各校への支援を行っていく。	学事振興課								
自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある児童生徒の割合																						%	/	/	/	/	/	キャリア教育や復興教育を推進してきたが、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることと効果的に関連付けられなかったと考えられ、高校生の判定は低となった。今後も復興・発展を支える人材の育成に取り組む。	学校教育室
(中学生)	47.5	53.5	56.0	59.0	55.0	中																							
(高校生)	53.3	58.5	61.0	64.0	49.5	低																							
エ 魅力ある社会教育の推進	社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	73	103	113	123	107	中	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した研修会があったことから、目標を下回る107人の受講となった。オンデマンド研修の実施等、ICTの効果的な活用を努め、受講者の増加を図る。	生涯学習文化財課																			
(3) 若者の職業的自立、就労等支援	ア 職業能力・意欲の習得	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	55	59	61	65	48	低	各校におけるキャリア教育の推進によって一昨年度よりも上昇したが、各学校で計画した行事等の中止や規模縮小のために目標値を下回り、判定は低となった。今後もキャリア教育の充実に取り組む。	学校教育室																		
		地域ものづくりネットワーク等と連携した工場見学への参加高校生数	人	1,659	1,900	1,900	1,900	2,525	高	地域ものづくりネットワーク等を中心に産学官が連携し、引き続き小学生から企業人まで各段階に応じた人材育成と小学生から企業人になるまで連続性のあるキャリア教育を推進する。	ものづくり自動車産業室																		
		3次元設計開発技術を習得した高校生数【累計】	人	55	135	210	290	239	高	ものづくり産業を取り巻く環境変化や企業のニーズを踏まえ、引き続き高等教育機関等と連携し高度技能者・技術者の育成に取り組む。	ものづくり自動車産業室																		
		高校生の県内企業の認知割合	%	-	83.6	91.8	100.0	72.8	低	いわてで働こう推進協議会を核とした取組により就職を希望する高校生の認知度は上昇傾向にあるものの、進学を希望する高校生の地元企業への関心を高めるところまでは至っていないと考えられるため、今後は進学希望者への地元企業の周知等にも取り組んでいく。	定住推進・雇用労働室																		
	イ 就労等支援の充実	高卒者3年以内の離職率(低減させる指標)	%	-	36.4	36.4	35.6	33.5	高	高卒者3年以内の離職率の低下は、いわてで働こう推進協議会を核として、企業へのキャリアアカウンセラー派遣や就業支援員等による定着支援訪問等に取り組んできた成果と捉え、今後も早期離職防止に取り組んでいく。	定住推進・雇用労働室																		

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	基準値 H30(2018)	目標値			実績 R3(2021)	判定	令和3年度実績に対する評価と 今後(令和4・5年度~)の対応	担当課
						R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)				
			高卒者の正社員求人割合 ※ 目標値の変更あり	%	95.9	96.0	96.0	96.3	96.5	高	高卒者の正社員求人割合の増加は、岩手労働局及び市町村等と連携し、正規雇用による安定的な雇用の確保について取り組んできた成果ととらえ、今後も安定的な雇用の確保に取り組んでいく。	定住推進・雇用労働室
			正社員就職・正社員転換数【累計】	人	11,767	26,400	39,600	52,800	29,267	低	令和3年度は、本県を含め全国的に正社員の新規求人数がコロナ禍前の水準に回復していないことから目標を達成していないため、岩手労働局等と連携の上、非正規労働者が多い業種において、生産性の向上(働き方改革)の促進等により、非正規雇用から正規雇用への転換の推進等に今後も取り組んでいく。	定住推進・雇用労働室
(4) 社会参画の 機会の拡大	ア ボランティア活動、 地域活動等の 促進	青少年ボランティア活動 者数【累計】	人	523	1,000	1,230	1,630	1,480	高	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の機会が制限されたところであり、ボランティアの機会を分散して少人数で活動するなどの対策を講じていく。	若者女性協働推進室	
		「わたしの主張」応募総 数【累計】	人	3,987	8,400	12,600	16,800	11,729	中	生徒数の減少もあり、応募総数が伸び悩んだ。教育委員会とも連携し、取組の周知・拡大を図っていく。	若者女性協働推進室	
	ウ 男女共同 参画の普及、 啓発	デートDV出前講座受講者 数【累計】	人	2,634	7,000	-	-	-	高	オンラインでの動画視聴も活用し、中高生等への啓発を行った。今後も、継続して取組を行っていく。	若者女性協働推進室	
		デートDV出前講座受講者 数(オンラインを含む) 【累計】	人	25,165	-	7,400	11,800	8,704	高			
		学校における男女混合名 簿使用率	%								令和3年度の目標値は達成しているが、引続き使用率100%を目指し、未使用校に対して働きかける。	学校教育室
	エ 消費者教 育等の充実	社会の動きや出来事に関 するニュースに関心がある 児童生徒の割合	(小学生)	%	39.0	65.0	85.0	100.0	95.3	高		
			(中学生)	%	21.0	50.0	75.0	100.0	87.3	高		
			(高校生)	%	81.0	100.0	100.0	100.0	100.0	高		
	イ ニートや ひきこもりな ど困難を抱え る子供・若者 とその家族へ の支援	若年無業者等「交流・活 動支援(ステップア ップ)参加者数【累計】	人	625	1,160	1,740	2,320	1,460	低	新型コロナウイルス感染症の影響により活動休止期間があり、また参加者が低調であった。今後は感染防止対策をしながら支援の機会を確保する。	若者女性協働推進室	
			学校不適 応への対応	いじめはいけないと思う 児童生徒の割合	%							いじめの定義や各校の学校いじめ基本方針の児童生徒への周知と理解に課題が見られた。引き続き、道徳教育や人権教育の充実に、継続的に取り組んでいく。
学校が楽しいと思う(学 校に満足している)児童 生徒の割合				%							魅力ある学校づくりの具体的な実践の手立て等が学校に浸透していなかった。今後は、児童生徒の主体的な取組事例等を収集し、その成果を発信・周知する等、魅力ある学校づくりの取組を推進していく。	学校教育室
ウ 障がい のある青少年 への対応	特別支援教育サポーター 登録者数	人	273	320	350	380	335	中	コロナ禍により、サポーター養成講座の実施において回数や内容に制約があるが、感染対策を徹底しながら継続して取り組んでいく。	学校教育室		
		エ 社会復帰 への支援と温 かく見守る環 境づくり	犯罪被害者等に係る理解 促進のための講演会等の 参加者数【累計】	人	-	8,600	-	-	-	高	講演会等の参加者数は毎年度増加しており、概ね目標値を達成している。今後も犯罪被害者等に対する理解・関心を深めるため継続して取り組んでいく。	消防安全課
			犯罪被害者等に係る理解 促進のための講演会等の 参加者数(オンラインを 含む)【累計】	人	7,534	-	10,040	14,340	12,401	高		
イ ニートや ひきこもりな ど困難を抱え る子供・若者 とその家族へ の支援	はまなすサポートホーム ページアクセス数	回	-	2,100	2,600	2,600	3,162	高	ホームページアクセス数は年々増加しており、はまなすサポートの認知度も高まっていると考えられる。引き続き、性犯罪・性暴力被害者への支援を促進するため、必要な普及啓発に取り組んでいく。	消防安全課		
		※ 目標値の変更あり										
2 愛着が持 てる地 域づく り	(1) 地 域ぐるみ の子育て 支援	ア 子育て支 援ネットワ ークづくり	すこやかメールマガジン 登録人数	人	1,141	3,000	4,000	5,000	3,635	中	チラシやSNS等を活用し、広く周知をした。目標を達成させるために、今後は、広報の範囲を広げるなど、より積極的な周知に努めながら、登録者の増加を図る。	生涯学習文化財課

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	基準値 H30(2018)	目標値			実績 R3(2021)	判定	令和3年度実績に対する評価と 今後(令和4・5年度~)の対応	担当課
						R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)				
			放課後児童クラブ設置数	箇所	385	419	437	456	423	低	共働き家庭等の子どもが増大する中、安心して子どもを産み育てられるよう、子どもの受入先である放課後児童クラブを確保することが必要であることから、地域の利用ニーズ等に基づいて市町村が計画的に実施する施設整備を引き続き支援する。	子ども子育て支援室
		イ 親育ちの支援	子育てサポートセンターにおける子育て支援研修等参加者数【累計】 ※ 下記の指標へ変更	人	372	800	-	-	-	低	新型コロナウイルス感染症の影響により目標に届かなかったが、開催時期の調整やオンラインでの開催も含め受講機会の確保に取り組む。	子ども子育て支援室
			子育てサポートセンターにおける子育て支援研修等参加者数(オンラインを含む)【累計】	人	②457	-	576	705	593	高		
			子育てサポーターを対象とした家庭教育支援に関する研修会参加者数	人	482	550	575	600	559	中	研修会の中止や規模を縮小しての開催等により、予定していた参加者数が下回った。オンラインやオンデマンドでの研修を可能にするなど、対象者が研修の機会をより多く持てるように環境を整備していく。	生涯学習文化財課
			子ども・若者支援セミナー受講者数【累計】 ※ 下記の指標へ変更	人	182	400	-	-	-	低	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から受講者制限・オンライン配信を行った。今後も、オンラインを併用しながら支援者の知識習得を図る。	若者女性協働推進室
			子ども・若者支援セミナー受講者数(オンラインを含む)【累計】	人	②490	-	730	970	667	低		
		ウ 地域の教育力の充実	コミュニティスクール設置市町村数	市町村	6	11	25	33	17	低	訪問支援により、未導入市町村へ丁寧な説明を行うことで、具体的な導入計画を策定することができた。フォーラムの開催や訪問支援を引き続き行うことで、令和4年度中に全ての市町村での導入を目指していく。	生涯学習文化財課
			教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数 ※ 目標値の変更あり	件	②3,411	4,684	3,650	3,900	3,429	低	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、令和2年度に引き続き中止した活動があったことなどにより、件数は目標値を下回った。活動の充実や活性化を図るため、地域の関係者等に対する研修機会を設定するとともに、市町村及び実践地区の継続的な支援に取り組んでいく。	生涯学習文化財課
			社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	73	103	113	123	107	中	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した研修会があったことから、目標を下回る107人の受講となった。オンデマンド研修の実施等、ICTの効果的な活用を努め、受講者の増加を図る。	生涯学習文化財課
			地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合	%							各学校において、保護者や地域住民が教育活動及び様々な取組(登下校の見守り、環境整備等)にボランティアとして参加し、割合は目標値を上回った。引き続き、学校や地域の関係者を対象に研修会を開催するなど、学校・家庭・地域の連携・協働について意識啓発を図り、保護者や地域住民の教育活動等への参加促進に取り組んでいく。	生涯学習文化財課
			(小学生)		-	82.0	83.0	84.0	100.0	高		
			(中学生)		-	64.2	65.6	67.0	96.6	高		
	(2)「ふるさと」を知り「地域」を体験する活動の支援	ア まつりや地域活動への参加促進	自分の住んでいる地域が好きだと思っている児童生徒の割合	%							新型コロナウイルス感染症対策のため学校行事が制限されたことに伴い、地域の良さを認識する機会が少なかったと考えられ、高校生の判定は低となった。今後も地域の良さを認識に向けて取組を推進する。	学校教育室
			(小学生)		66.0	70.0	72.0	74.0	72.0	高		
			(中学生)		52.0	56.0	58.0	60.0	53.0	低		
			(高校生)		51.0	54.0	58.0	62.0	45.0	低		
		ウ 豊かな体験学習の充実	県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数 ※ 下記の指標へ変更	人	-	1,050	-	-	-	低	県立社会教育施設で、「岩手」をテーマとした講座の参加者を多く得たが、引き続き豊かな自然、文化、歴史等の資源をテーマとした公開講座を開催するなど、岩手ならではの学習機会の提供に取り組む。	生涯学習文化財課
			県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数(オンラインを含む)	人	②623	-	650	1,020	678	高		
			放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	25.7	60.0	80.0	100.0	67.0	低	指導者の不足等により、割合は目標値を下回った。市町村の支援に引き続き取り組み、指導者の配置拡充を図る。	生涯学習文化財課

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	基準値 H30(2018)	目標値			実績 R3(2021)	判定	令和3年度実績に対する評価と 今後(令和4・5年度~)の対応	担当課	
						R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)					
3 青少年を事件・事故から守る環境づくり	(3)「世代間・地域間」等の多様な交流の促進	ウ 国際理解・国際協力の推進	海外派遣人数及び相互交流受入人数【累計】 ※ 目標値の変更あり	人	33	88	42	86	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は海外への派遣及び受入ができなかったが、同感染症の状況を見極めながら、関係機関と調整の上、引き続き海外との交流機会の創出に取り組んでいく。	国際室	
			いわてグローバル人材育成推進協議会の支援制度を利用して海外留学した学生数【累計】 ※ 目標値の変更あり	人	5	10	8	13	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は海外への派遣ができなかったが、同感染症の状況を見極めながら、関係機関と調整の上、引き続き海外との交流機会の創出に取り組んでいく。	国際室	
		ア ワークライフバランスの推進	いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数	事業者	113	215	265	315	295	高	企業訪問等により登録企業の拡大に取り組んだ。引き続き、企業訪問のほか、HPや県広報による情報発信により、認証企業数の拡大を図る。	子ども子育て支援室	
			いわて働き方改革推進運動参加事業者数	事業者	217	600	800	1,000	680	低	目標には届かなかったものの運動参加事業所は着実に増加している。県内企業における働き方改革の推進に向けて継続して、意識啓発や優良事例の普及等に取り組んでい企業への働きかけにより、協賛店舗数の拡大に取り組んだ。引き続き、協賛店登録が子育て世帯へのアピールポイントになることを積極的に周知し、登録を促進する。	定住推進・雇用労働室	
	「いわて子育て応援の店」協賛店舗数		店舗	1,933	2,118	2,209	2,300	2,225	高		子ども子育て支援室		
	(5)「青少年団体活動」の支援	イ 青少年活動交流センターの充実	青少年活動交流センター利用者数 ※ 下記の指標へ変更	人	23,150	23,000	-	-	-	-	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から利用制限を行ったため、大幅な減少となった。今後は、配信や分散開催などの感染防止対策を講じて利用者を確保する。	若者女性協働推進室	
			青少年活動交流センター利用者数(作品応募者数を含む)	人	②12,120	-	12,200	12,200	8,842	低			
	(1)「青少年の居場所づくり」の推進	ア 相談体制の整備	悩み相談ができる学校以外の相談窓口を知っている児童生徒の割合 (小学生) (中学生) (高校生)	%								相談窓口の周知が十分できていないと思われる。今後は、年間を通じ、機会を捉えてSOSの出し方・受け止め方の指導とともに相談窓口を周知していく。	学校教育室
				75	100	100	100	89	低				
				48	100	100	100	96	中				
81				100	100	100	91	低					
イ 自由に集える居場所づくり		子ども食堂など子供の居場所づくりに取り組む市町村数	市町村	11	24	29	33	24	低	立ち上げ等の補助や支援に取り組んだ結果、新たに3市町において設置が進んだものの、関係者間での運営形態の検討に時間を要している等の事情により新規開設まで至らない市町村があった。	子ども子育て支援室		
			イ 見守り活動の推進	青少年を非行・被害から守る県民大会参加者数【累計】 ※ 下記の指標へ変更	人	499	900	-	-	-	-	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から入場制限、オンライン配信を行った。今後もオンラインを併用しながら、希望者には資料送付の方法により青少年を非行・被害から守る意識の醸成に務める。	若者女性協働推進室
					②970	-	1,520	2,070	1,567	高			
					%	-	79.0	84.0	85.0	80.8	中	登下校時に見守り活動を行うことができる人材の確保が課題であること、また、スクールバスや自家用車での送迎による登校のため、見守り活動を実施できない学校があること等の課題があります。今後は、人材確保や見守り活動に係る事例等の情報交換や、児童生徒の通学時間に合わせて買い物やペットの散歩等を行なう「ながら見守り」の周知等、見守り活動の活性化を推進します。	保健体育課
			ウ 児童虐待の防止	児童福祉司1人当たりケース数	ケース	55.1	45.9	43.0	40.0	42.4	高	児童福祉司を4名増員したものの、相談対応件数が大幅に増加したため、目標を達成できなかったもの。今後も、件数の動向を踏まえ、体制強化を図っていく。	子ども子育て支援室
					エ 交通安全の充実	交通事故死傷者数(低減させる指標)	人	2,472	2,140	2,000	1,860	1,865	高
オ 被害者支援の充実	犯罪被害者等に対する理解促進のための講演会等の参加者数【累計】【再掲】 ※ 下記の指標へ変更	人	-	8,600	-	-	-	-	講演会等の参加者数は毎年度増加しており、概ね目標値を達成している。今後も犯罪被害者等に対する理解・関心を深めるため継続して取り組んでいく。	消防安全課			

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	基準値 H30(2018)	目標値			実績 R3(2021)	判定	令和3年度実績に対する評価と 今後(令和4・5年度~)の対応	担当課
						R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)				
			犯罪被害者等に係る理解促進のための講演会等の参加者数(オンラインを含む)【累計】【再掲】	人	②7,534	-	10,040	14,340	12,401	高	て取り組んでいく。	消防安全課
			はまなすサポートホームページアクセス数【再掲】 ※ 目標値の変更あり	回	-	2,100	2,600	2,600	3,162	高	ホームページアクセス数は年々増加しており、はまなすサポートの認知度も高まっていると考えられる。引き続き、性犯罪・性暴力被害者への支援を促進するため、必要な普及啓発に取り組んでいく。	消防安全課
	(3)「非行防止活動」の推進	ア 非行防止活動の充実	少年人口1,000人当たり に占める刑法犯少年の数 (低減させる指標) ※ 目標値の変更あり	人	1.61	1.60	1.58	1.57	1.13	高	目標数値を大幅に達成したものの、刑法犯少年全体に占める触法少年の割合が高い傾向にある。今後も学校と連携した非行防止教室等、小学生・中学生に対する広報、啓発を強化する。	警察、消防安全課
			少年が主たる被害者となる刑法犯認知件数の割合 (維持する指標)	%	11.3	11.3	11.3	11.3	9.5	中	目標数値を達成した。今後も学校やボランティアと連携した犯罪被害防止活動など、少年の犯罪被害防止に向けた広報、啓発を推進する。	警察、消防安全課
		ウ 薬物乱用防止活動の推進	喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	73.7	100.0	100.0	100.0	89.9	中	小規模校においては、がん教育に関する事業や他の保健関係事業と隔年で実施している等の理由から、薬物乱用防止教室を開催していない学校もある。今後は、開催の意義、対象学年に応じた学習資料や学習内容の情報提供等により、学校での開催を推進する。	保健体育課
	(4)子供・若者を取り巻く環境等への対応	イ インターネット・スマートフォン等への対応	青少年指導者向け情報メディア対応能力養成講座受講者数【累計】 ※ 下記の指標へ変更	人	127	340	-	-	-	低	予定していた4地区のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や人数制限、オンライン配信をした地区があった。今後もオンラインを併用するなど感染防止対策を講じながら取り組む。	若者女性協働推進室
			青少年指導者向け情報メディア対応能力養成講座受講者数(オンラインを含む)【累計】	人	②312	-	460	630	531	高		
			ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合 (小学生) (中学生) (高校生)	%	/	/	/	/	/	低 低 低	児童生徒向けの講習会や出前講座が減少したことが一因と考えられ(コロナによるもの)、目標値に届かなかった。今後も情報モラル教育を進め、児童生徒の情報モラルの啓発を図る。	学校教育室
4 若者が活躍できる環境づくり	(1) 若者間のネットワーク構築の促進	ア 若者間の交流とネットワークづくりの促進	いわて若者交流ポータルサイト登録団体数 ※ 目標値の変更あり	団体	63	79	101	107	101	高	年度の目標値は達成しているが、引き続き県内で活躍する若者団体の掘り起こしを行うとともに、活動停止団体の把握等に努める。	若者女性協働推進室
		イ 若者の情報発信などによる活動参加の促進	いわて若者交流ポータルサイトアクセス数 ※ 目標値の変更あり	回	36,292	41,000	56,500	56,500	61,827	高	年度の目標値は達成しているが、引き続き若者が求める情報の掲載と頻度の高い更新に努める。	若者女性協働推進室
	(2) 若者の活躍を支援する仕組みの充実	ア 若者自らが実施する復興や地域づくり等の取組の支援	いわて若者会議参加者数【累計】 ※ 下記の指標へ変更	人	230	400	-	-	-	低	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から岩手県立大学において、当該校の学生を対象として現地開催し、その他の方向けにオンライン配信を行った。今後も、オンラインを併用しながら、若者へのいわての未来づくりへの参画意識の醸成や若者同士の交流を促進していく。	若者女性協働推進室
			いわてネクストジェネレーションフォーラム(トークセッション)の参加者数(オンラインを含む)【累計】	人	②881	-	1,500	2,100	2,750	高		
			若者文化祭等の若者関連文化イベント来場者数【累計】 ※ 下記の指標へ変更	人	7,755	13,000	-	-	-	低	新型コロナウイルス感染防止対策の観点から岩手県立大学において、当該校の学生を対象として現地開催し、その他の方向けにオンライン配信を行った。今後も、オンラインを併用しながら、若者へのいわての未来づくりへの参画意識の醸成や若者同士の交流を促進していくとともに若者関連文化イベントの支援に取り組む。	若者女性協働推進室
			いわてネクストジェネレーションフォーラム等の若者関連文化イベント参加者数【累計】	人	②12,703	-	13,900	19,400	19,199	高		
		イ 高等教育機関と連携した地域づくり・人づくりの支援	高大連携講座への参加者数【累計】	人	912	1,010	900	900	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止したため、実績値は測定できなかった。	学事振興課

いわて青少年育成プラン(2020～2024) 参考指標

重点目標	中項目	小項目	指標名	単位	青少年プラン基準値(2018)	実績2021	担当課
1 個性や主体性を発揮して自立した活動ができる環境づくり	(3) 若者の職業的自立、就労等支援	ア 職業能力・意欲の習得	(建設業における)若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数【累計】	人	963	2,042	建設技術振興課
		イ 就労等支援の充実	「いわてアグリフロンティアスクール」の修了生数【累計】	人	425	484	農業振興課
			「いわて林業アカデミー」の修了生数【累計】	人	33	81	森林整備課
			「いわて水産アカデミー」の修了生数【累計】	人	-	20	水産振興課
			ICTセミナー受講者数(オンラインを含む)【累計】 ※ 指標の算定対象を変更	人	②431	741	科学・情報政策室
			離職者を対象とした職業訓練の受講者の就職率	%	77.1	80.7	定住推進・雇用労働室
		障がい者委託訓練の修了者の就職率※第2期APより修正	%	86.7	73.7	定住推進・雇用労働室	
	(4) 社会参画の機会の拡大	イ 青少年の声を反映する機会の拡大	いわて希望塾参加者数【累計】	人	129	176	若者女性協働推進室
			「わたしの主張」大会発表者数【累計】	人	177	536	若者女性協働推進室
		エ 消費者教育等の充実	消費者教育関連セミナー受講者数(オンラインを含む)【累計】 ※ 指標の算定対象を変更	人	②10,955	6,302	県民くらしの安全課
	(5) 困難を抱える青少年とその家族への支援	ア ニートやひきこもりなど困難を抱える子ども・若者への対応	ニート等の自立に関する相談件数【累計】	件	4,212	4,161	若者女性協働推進室
			自殺者数(10万人当たり)	人	20.5	16.2	障がい保健福祉課
		イ 学校不応への対応	不登校児童生徒数	人	1,595	2,270	学校教育室
			いじめの校種別認知件数	件	7,694	8,039	学校教育室
	2 愛着が持てる地域づくり	(1) 地域ぐるみの子育て支援	イ 親育ちの支援	いわて親子家庭フォーラム参加者数【累計】	人	5,790	15,550
			家庭の教育力が低下していると思う保護者の割合	%	61.0	49.8	若者女性協働推進室
(2) 「ふるさと」を知り、「地域」を体験する活動の支援		ア まつりや行事、地域活動への参加促進	町内会などの地域活動に参加したことのある青年の割合	%	20.5	21.4	若者女性協働推進室
		ウ 豊かな体験学習の充実	景観学習実施回数	回	14	5	都市計画課
(3) 「世代間・地域間」等の多様な交流の促進		イ 交流体験活動の充実	いわて希望塾参加者数【累計】【再掲】	人	129	60	若者女性協働推進室
			グローバルキャリアフェアの参加者数(オンラインを含む)【累計】 ※ 指標の算定対象を変更	人	②74	91	国際室
		ア ワークライフバランスの推進	総労働時間(年間)	時間	1,840.8	1,761.6	定住推進・雇用労働室
		年次有給休暇の取得率	%	-	58.6	定住推進・雇用労働室	
		共働き世帯の男性の家事時間割合(週平均)	%	40.7	39.2	若者女性協働推進室	
(5) 「青少年団体活動」の支援		ア リーダー・指導者育成	いわて希望塾参加者数【累計】【再掲】	人	129	176	若者女性協働推進室
3 青少年を事件・事故から守る環境づくり	(3) 非行防止活動の推進	ア 非行防止活動の推進	少年(20歳未満)の再犯者率	%	33	23.0	警察、消防安全課
	4 若者が活躍できる環境づくり	ウ 若者の起業支援	商工指導団体による創業指導回数	回	-	482	経営支援課
いわて起業家育成資金の貸付件数			件	-	110	経営支援課	